

来週の『売り物記事』はこれ



2017年2月3日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

シベリア抑留 家族を繋いだ52通のハガキ

5日(日)



第二次大戦終結後、旧満州(現中国東北部)に侵攻したソ連は、推計約60万人の日本軍兵士らを自国領とモンゴルに移送、強制労働に就かせました。いわゆる「シベリア抑留」です。約6万人が亡くなった過酷な状況下で、11年にわたって抑留された元満鉄社員の佐藤健雄さんが、帰国を待つ妻ら家族と交わした52通のハガキが見つかりました。うち35通は家族が出したハガキを佐藤さんがシベリアから持ち帰ったものでした。ソ連は国際法違反である抑留の実態が知られるのを防ぐため、帰国する抑留者が文書を持ち出すことを厳しく禁じており、大量のハガキは抑留史の闇を照らす貴重な一次資料といえます。夫のいない苦しい生活を嘆き、将来の不安を切々と訴える妻を、佐藤さんは自身の窮状をうかがわせることなく繰り返し励ましています。歴史の教科書には書かれることのない52通のハガキ。抑留の実態に迫るとともに戦争とは何か、家族とは何かを考えます。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

高額報酬に肖像画、宝石入り記念章…

「東京都議」というお仕事

夕刊特集ワイド 6日(月)



小池百合子東京都知事=写真=の勢いが、就任から半年たっても衰えていません。連日その動きがニュースを賑わせています。都民から高い支持を維持する原動力は、いわゆる「抵抗勢力」と戦う姿ではないでしょうか。知事ににらまれた都議会には、確かに都民に理解されにくい、さまざまな規則や慣習があるようで……。夏の都議選を前に都議会はどんなところなのか、小池知事は何を「改革」するのか、調べてみました。

心臓病 知っておくべき最新知識

医療・福祉面 5日(日)

日本人の病気別の死因でがんに次いで2位を占めるのが、心不全や心筋梗塞などの心臓病です。心臓病による死亡を減らすには、救急搬送態勢の整備など、社会の仕組みが大切ですが、日常の食事の見直しなど個人でできる予防も大きな要因を占めます。心臓病について詳しい豊岡照彦・東大名誉教授に、知っておくべき最新知識を聞きました。



親権裁判の余波

くらしナビA面 8日(水)



別居中の両親が長女(9)の親権を争った離婚訴訟の控訴審で、東京高裁が1月26日、母親と長女の面会交流を年100日程度認める提案をした父親を親権者とした1審判決を変更し、同居する母を親権者とする判決を言い渡しました。裁判長は「面会交流の意向だけで親権者を定めることはふさわしくない」と指摘しました。親権問題の背景と判決の影響を探ります。

手作りチョコレート

くらしナビA面 7日(火)

14日のバレンタインデーを控え、街にチョコレートがあふれる時期となりました。職人が丹精こめた高級品もいいですが、手作りに挑戦して身近な人に気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか。チョコレートは温度変化に弱く、デリケートな素材。本場フランスで学んだ菓子研究家の山本ゆりこさんに、初心者でも作りやすい手軽な3品を教えてくださいました。



Tokiko's Kiss 平野啓一郎さん おんなのしんぶん 6日(月)



今回の対談相手は作家の平野啓一郎さん(41) =写真=です。毎日新聞に連載した最新長編「マチネの終わりに」は、中東の戦乱や強欲な金融資本主義といった社会問題を背景にした大人の恋愛小説です。文学少女だった加藤登紀子さんは「平野さんの小説は読ませる力が強い。矢をどこで放つのか、緊張感がすごく一緒に弓を引き絞っている感覚になります」と語りかけます。

世界は再び「憎しみの時代」に向かうのか

トランプ大統領「入国禁止令」をどう考える

オピニオン面 [論点] 8日(水)

トランプ米大統領が出したイスラム圏7カ国からの入国を一時禁止する大統領令は、世界を驚がくさせました。批判の声に、トランプ氏は意に介するそぶりもありません。超大国による先鋭化する「差別」政策が生み出すものは、ただ憎しみの再生産です。日米同盟を基軸に掲げる日本も無縁ではられません。この事態をどう考えればいいのか。有識者に聞きました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

月の起源は？

6日(月)



月の起源に迫る研究の最前線を紹介する。有力な説は巨大天体が地球に衝突し、両者のかけらが寄り集まったとする考え。だが、月の岩石の組成に衝突した天体の痕跡がないとの弱点がある。1月に発表されたのは、小天体が何度も地球にぶつかり、地球の岩石を中心に形成されたとする新説。ただ、都合良く何回も衝突する確率は相当低く、疑問が残る。さて、真相は？